

関連文化財群 5 信仰と獅子舞

関連文化財群の概要
長井市域は、周辺を山が囲み、古くから山岳信仰（修験道）が盛んでした。また、神仏習合の影響もあり、真言宗や曹洞宗などの仏教と、總宮神社を始めとする神道が広く展開されました。前九年合戦に際して總宮神社で奉納されたと伝わる黒獅子舞は、現在では市内の多くの寺社で舞われています。
関連文化財群の内容
山形県における山岳信仰は、大きく飯豊朝日系、出羽三山系、吾妻系、蔵王系、鳥海山系があります。いずれも、いわゆる修験道の聖地として知られ、山頂付近には寺社が建立されています。 このうち長井市域は、飯豊朝日系に属し、長井市にピークを持つ霊山である<u>祝瓶山※1</u>があります。祝瓶山は、長井市の北西に位置する標高 1,417 メートルの急峻な岩山で、東北のマッターホルンとも呼ばれています。ここで修行すれば肉体と精神の鍛錬になるとして、出羽三山詣でのために城内を訪れた多くの修験者が挑んだと伝わっています。 また、致芳地区の白兔には、飯豊朝日山系の縦走ルートの入り口である<u>葉山※2</u>の登山口があり、毎年、多くの登山者が利用しています。 出羽三山は朝日連山の北西の連なるの先にあり、長井市域は出羽三山詣での南の取り付きに当たるため、西根地区の草岡や勧進代、致芳地区の白兔、白鷹町深山等には、行屋（ぎょうや）と呼ばれる修験者用の簡易宿泊所が設置されました。出羽三山を目指す行者は、ここで精進潔斎し、尾根伝いの山道を通して出羽三山に向かったといわれます。 葉山は、本市と白鷹町、朝日町の境界に位置する標高 1,237 メートルの山で、頂には<u>月山宮※3</u>（月山大権現）と<u>葉山宮※4</u>（羽黒大権現）が祀られています。その口の宮として、白兔に拝殿（<u>葉山神社※5</u>）が設けられました。葉山は中世から作神と崇められ、春には雪解けの水を里に流し、田畑を潤して五穀豊穡の恩恵から信仰の対象となっています。葉山の本地仏は、神仏分離以前には薬師如来とされ、致芳地区の五十川に造立された<u>葉山塔※6</u>はその名残といわれます。 獅子舞は、黒色系獅子と赤色系獅子に分かれ、さらに黒色系獅子は熊野修験系と舞楽系に細分され、置賜地方の多人数黒獅子、いわゆるムカデ獅子は、熊野修験系の一つとされます。中央地区の宮横町にある<u>總宮神社※7、8</u>の獅子舞の起源は、源頼義が前九年合戦（永承 6 年／1051）の戦勝祝いに總宮大明神の社殿を再建し、その落成を記念して軍士に<u>獅子舞※9</u>を舞わせたことに始まったと伝わっており、江戸時代前期の文献にも、總宮神社で<u>黒獅子※10</u>が舞った記録が残されています。
 写真 38 祝瓶山（木地山ダム湖から望む）  写真 39 月山宮（左）と葉山宮（右）

野川※11の上流には三淵溪谷※12があり、總宮神社の奥之院と呼ばれていますが、この三淵には、卯の花姫伝説として、次のような悲恋物語が伝えられています。

平安時代、前九年合戦の際、源義家が安倍貞任を討伐するために奥羽へ下向したとき、安倍家の娘である卯の花姫と恋仲になりましたが、義家は安倍家討伐を進めたため、敗走した卯の花姫は、三淵に身を投げ龍神になったと伝わります。この龍神は三淵明神として祀られ、總宮神社の奥之院とされました。祭礼のときには、この龍神が野川を下って總宮神社の社殿に入り、黒獅子に姿を変えて現れると言い伝えられています。

中央地区の小出神明町にある皇大神社※13は、昭和34年（1959）、東北で初めて伊勢神宮の式年遷宮の解体材を用いて建築した本殿と翌年に新築された幣殿、拝殿からなり、同じ小出館町にある白山神社※14とともに、市指定無形民俗文化財の小出の獅子舞※15が伝えられています。

市内にある約40の寺社に伝わる獅子舞が競って舞い踊る、いまや長井を代表する観光イベントにもなったながい黒獅子まつり※16は、地域の賑わいづくりに大いに貢献しています。

このように、本市にとって、山岳信仰につながる神事でもある黒獅子舞は、市民の心の拠り所として、また、大切な観光資源として、これからも行われていきます。

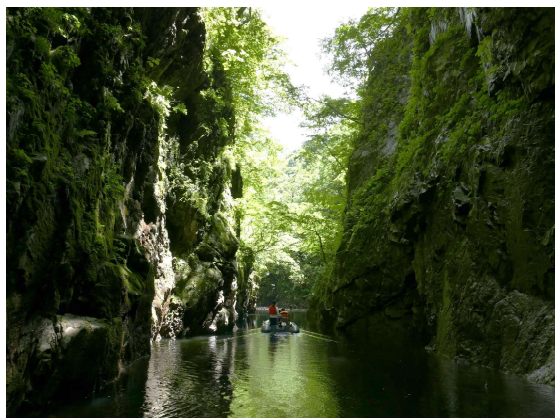


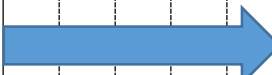
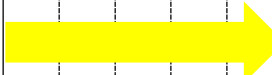
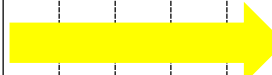
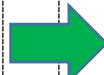
写真 40 三淵溪谷



写真 41 ながい黒獅子まつりで舞う小出の獅子

構成文化財一覧

No.	名称	種類	指定等の状況
1	祝瓶山	記念物（名勝地）	未指定
2	葉山	記念物（名勝地）	未指定
3	月山宮	有形文化財（建造物）	未指定
4	葉山宮	有形文化財（建造物）	未指定
5	葉山神社	記念物（遺跡）	未指定
6	葉山塔	記念物（遺跡）	未指定
7	總宮神社本殿	有形文化財（建造物）	市指定
8	總宮神社	文化的景観（重要な構成要素）	市特定
9	總宮神社の獅子舞	民俗文化財（無形の民俗文化財）	市指定
10	總宮神社の獅子頭	有形文化財（美術工芸品（彫刻））	市指定
11	野川	記念物（名勝地）	未指定
12	三淵溪谷	記念物（名勝地）	未指定
13	皇大神社	文化的景観（重要な構成要素）	市特定

14	白山神社	文化的景観（重要な構成要素）	市特定											
15	小出の獅子舞	民俗文化財（無形の民俗文化財）	市指定											
16	ながい黒獅子まつり	民俗文化財（無形の民俗文化財）	未指定											
課題														
・山岳信仰に関する資料が少なく、繁栄期の様子が不明確である。 ・信仰や祭礼など、民俗文化財等を学ぶ機会が少ない。 ・ながい黒獅子まつり（No. 16）は賑わうが、各神社の祭礼での獅子舞の注目度はあまり高くない。														
方針														
①山岳信仰の繁栄期などに関するまだ見つかっていない資料などを探索する。 ②民俗文化財等を学習する機会を設ける。 ③各地の神社に伝わる獅子舞等、無形の民俗文化財に関する様々な情報を広く発信する。														
措置														
第5章 対応 No.	事業名等	事業内容	継続 拡充 新規	事業主体						令和 8 年度	令和 9 年度	令和 10 年度	令和 11 年度	令和 12 年度
				市民 等	文化 財の 所有者	関 連 団 体	学 校 等	学 識 者	市					
3	未指定文化財の調査推進（方針①）	文化財を適切に管理し、次世代に伝えるため、指定文化財候補の掘り起こしと詳細調査の実施を進める。	継続	●	●	●	●	●	●					
19	文化財調査事業（方針①）	調査が不十分な文化財や、文化財未調査地域について、専門家の協力を得ながら調査を進める。	継続					●	●					
20	デジタルアーカイブ整備事業（方針②③）	主に市所有の文化財等について、分類整理の終わった資料をデジタルアーカイブ化し、可能な範囲で公開する。併せて、市内の歴史文化に関する情報をデジタルアーカイブ化し、市民を含め、誰でも長井の歴史文化に触れることができるようにする。	拡充	●	●	●		●	●					
21	小中学校の郷土史学習の充実（方針②）	小中学校で行われる郷土史を知る学習に講師を派遣するなど、充実した学習となるよう支援する。	拡充			●	●	●	●					
25	文化財を見る機会の創出（方針①②）	市内文化施設はもとより、その他の公共施設や市外博物館施設等とも連携し、長井市の文化財（主に有形文化財）を展観する機会（外部委託を含む）を提供する。	新規	●	●	●	●	●	●			検 討		
28	大学等との連携推進事業（方針②）	市内の文化財等について、大学等の研究機関と連携し、調査研究を進める。	新規					●	●					検 討

29	地域・地区等のお宝発見事業の支援 (方針①)	地域と学校が連携した世代間交流による地域学習の一つとして、地域の宝物を探す事業を提案支援し、郷土愛を育む一助とする。	新規	●	●	●	●	●	●								検 討
35	SNS 等、情報発信ツールの活用促進 (方針③)	市内外への文化財のPRのため、SNSなどを活用し情報発信を行う（デジタルアーカイブ等を含む）。	継続		●	●			●								

関連文化財群 5 信仰と獅子舞

